



映画「この世界の片隅に」を見て

この史代作の漫画をアニメ化した映画。呉市吉浦生まれの私は「広島県呉市が舞台」に惹かれて見に行った。主人公のさすが汽車で広島から呉に向かう。どんな風に途中駅吉浦が描かれたか？と期待したが、飛ばされた。

能年玲奈 主演の声は「のん」能年玲奈。元所属していたレプロの圧力でテレビで殆ど報じられていないとか。ところが、キネマ旬報で日本映画の一位に選ばれた。戦争の被害は民衆に

さすが結婚したのは一九四三年。対米開戦の二年後。徐々に敗色が現れるころ。食料の配給も乏しくなる。嵩だけが增える「楠公飯」とか雑草を入れた飯。

やがて呉も爆撃され、すずは一緒に逃げた姪を死なせ、右手を失う。そして広島への原爆。大きなキノコ雲が広島方面に上がった。吉浦の祖父から「朝顔のよいうな大けえ雲があがった」と聞かされていた。すずの夫の姉は原爆症を発症。常に民衆が被害の矢面に立たされる。同じ頃、中国では・日本の民衆の被害が強調される。戦争を二度としてはならない。が、忘れてならないのは日本軍の侵略による被害だ。特に、中国やベトナムでは食料を日本軍に奪われ餓死者も出ていた。

曹洞宗青木山本覺寺

ほんがくじ 横浜市神奈川区

二〇一七年一月



事情により来週は休みます

JR東神奈川駅と横浜駅の間にJRや京急をまたぐ青木橋がある。その橋のそばの高台に「本覺寺」がある。一二二六年に創建されたが、荒廃。一五三二年に再興されたという。

江戸時代に、この周辺は神奈川宿として栄えた。江戸時代末期、開国を迫る各国に対し、徳川幕府は神奈川宿周辺の寺院を領事館に提供。ここはアメリカ領事館となった。しかし、通行量の多い神奈川宿でのトラブルを避ける為、開港場は神奈川から横浜に移され、領事館も僅か三年で移動した。

JRや京急の線路の向こうに幸ヶ谷公園がある。今は桜の名所。元はこの寺からそのまま山が続いていたが、新橋横浜間に鉄道が開通するに際し、開削されたという。

